

1. 科目名 (単位数)	国際社会と日本 (2単位)		3. 科目番号	GELA1334
2. 授業担当教員	内藤 伊都子			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、グループプレゼンテーション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	特になし			
7. 講義概要	「グローバル化」という言葉を頻繁に耳にするようになりましたが、それは一体何を意味するのでしょうか。この授業では、国際社会の状況に関する事例を使用教材(教科書、随筆記事、映像等)を適宜用いて紹介し、それを基にグループ討議を行い、「グローバル化」が世界の人々に及ぼしている影響を多角的に学び、理解を深めます。また、学期を通して、世界各地で起こっている出来事と日本との関わりについても考察を深めていきます。			
8. 学習目標	1. 「グローバル化」がもたらしている影響について多角的な理解を深め、説明できる。 2. 「グローバル化」と日本の関わりについて多角的に考察し、自分の意見を言える。 3. 国際社会の一員として国際社会の今後の展望に関し自分の意見を言える。			
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	1. 各回の事前学習と事後学習を参照し、予習と復習しておく。 2. 自身が所属する社会の特徴について分析し、レポートを作成して提出する。 3. 国際社会における日本の役割について考えをまとめ、レポートを作成して提出する。 詳細については、講義内で指示する。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 資料は適宜講義で配付する。 【参考書】 講義内で適宜紹介する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 「グローバル化」がもたらしている影響について多角的な理解を深め、説明できる。 2. 「グローバル化」と日本の関わりについて多角的に考察し、自分の意見を言える。 3. 国際社会の一員として国際社会の今後の展望に関し自分の意見を言える。 ○評定の方法 成績評価の規準1～3についての達成度を以下の方法により評価する。 ・各受講生の参加意欲・態度(課題の提出状況も含む)について総合的に評価する。(30%) ・各受講生の授業での発言・共同作業(ディスカッションなど)の実態等から総合的に評価する。(30%) ・各受講生の知識理解や思考の深まりについて、試験・レポートから評価する。(40%)			
12. 受講生へのメッセージ	各回の事前学習と事後学習を必ず達成したうえで、授業に臨むこと。 配付資料は熟読し、授業に持参すること。 国際社会での活動や国際交流に興味を持っていることが望ましい。 講義内容を積極的に聴き、必要に応じて自身が振り返る際に理解できる言葉・表現でメモすること。 自身の意見や考えについて積極的に発信していくこと。			
13. オフィスアワー	初回の講義内で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	イントロダクション: 授業の概要、授業の進め方	事前学習	シラバスを確認し、扱うテーマ内容について把握しておく。	
		事後学習	講義内容を振り返り、授業の進め方について整理しておく。	
第2回	グローバリゼーション	事前学習	現在の日本について感じていることをまとめておく。	
		事後学習	講義内容を振り返り、合わせて今後のテーマ内容を確認しておく。	
第3回	多文化共生社会	事前学習	自身が暮らしている場やその周囲はどのような環境であるか、広く振り返っておく。	
		事後学習	共生の意味や環境と文化などについて整理しておく。	
第4回	エスニック・マイノリティ	事前学習	文化背景が異なる人々に対する自身の態度について振り返っておく。	
		事後学習	国際社会におけるマイノリティの意味について整理しておく。	
第5回	アイデンティティ	事前学習	自分の文化とはなにか、自身が所属する社会・文化の特徴について振り返っておく。	
		事後学習	自身の社会的・文化的アイデンティティについて分析しておく。	
第6回	エスノセントリズム	事前学習	自身の行動の中にどのような民族的・文化的特徴があると思うか考えておく。	
		事後学習	自身のエスノセントリズムの傾向について分析しておく。	

第7回	ステレオタイプ	事前学習	エスニック・マイノリティについて復習し、マイノリティに対する自身のイメージをまとめておく。
		事後学習	ステレオタイプの特徴とその影響について整理しておく。
第8回	レイシズム	事前学習	社会や文化等背景が異なる人々に対する自身の感情について振り返っておく。
		事後学習	レイシズムについて整理し、自身の傾向について分析しておく。
第9回	国際社会からみた日本のイメージ	事前学習	日本や日本人のイメージについて自身の考えをまとめておく。
		事後学習	自身の社会や文化等の観方について分析しておく。
第10回	日本社会とニューカマー	事前学習	日本国内での異文化接触にはどのような状況があるか広く振り返っておく。
		事後学習	ニューカマーの状況について整理しておく。
第11回	日本社会とエスニシティ	事前学習	多文化共生社会について復習し、日本社会における共生の場について考えておく。
		事後学習	自身の生活環境と異文化接触について改めて振り返っておく。
第12回	国際社会と言語コミュニケーション	事前学習	自身の外国語学習の経験について振り返っておく。
		事後学習	社会参加としての言語の役割や意味について整理しておく。
第13回	海外における日本語教育	事前学習	日本の外国語教育について復習しておく。
		事後学習	日本語教育事情と目標言語の学習動機について整理しておく。
第14回	国際社会と組織	事前学習	自身が所属する組織や集団とそれらを構成するメンバーについて振り返っておく。
		事後学習	国際社会における組織内と組織間の関係とその状況について整理しておく。
第15回	総括：既習内容の振り返り、重要ポイントのまとめ	事前学習	既習内容について総復習をし、不明な点がないか確認しておく。
		事後学習	ノートや資料を整理し、レポートを作成する。